

ハ尖瓦ヲ以テ其ノ瘡ヲ搔カシムルモ聖者ハ悉ク之ヲ忍ビ
 受ケ唯我が主神ヲ讚揚スト言ヒテ止マザルノミ拷治時ヲ
 經ル後、獄舎ニ下シテ五日ノ間、飲食ヲ與ヘサリキ
 恚^{カク}而^テリキニイハ十字架ヲ作ラシメ五日ノ後、聖者ヲ獄舎ヨ
 リ出シテ其ノ手足ヲ十字架ニ釘ヲ兵士ニ命ノ其ノ面ニ射^{ユミキ}
 且ツ其ノ目ヲ抉リタリ此ノ時、常ニフエオドルニ從ヒテ後其
 ノ傳ヲ作りシ忠信ナル僕アウガリ其ノ傍ニ在リシガ主君
 ノ哀レナル景狀ヲ見、流涕シテ其ノ足下ニ伏シ其ノ祝福ト
 遺言トヲ請ヒケレバ致命者ハ僕ニ謂テ曰クアウガリヨ爾、
 我が諸難ト我が終焉トヲ記セヨト言ヒ終リテ主ニ向ヒ祈

禱シ苦難ノ爲メ魂ノ悲哀ヲ訴ヘテ曰ク主ヨ爾我十倍ニ
 スルヲ約シ今何ゾ我ヲ捨ツルヤ我レ爾ノ爲ニ十字架ニ釘
 セラレ兩目借ニ抉カレ面ニ創ヲ受ケ全体傷ヲ滿テ且ツ尽
 裂カレ今此ノ十字架ニ懸ルハ唯骨ノミナリ主ヨ爾ノ聖
 名ノ爲ニ苦ヲ受クルノ我ヲ記憶シ我が魂ヲ受ケヨ蓋シ我
 レ今塵世ヲ去ラントスト言終リテ默然タレバリキニイ以^テ
 爲ラク彼レ已テニ死セリト因テ刑場ヲ出テタリシガ猶ホ
 其ノ遺骨ヲ十字架ヨリ下スコトヲ許サバリキ
 此ノ夜初更ノ頃、神ノ使者顯ハレテフエオドルヲ十字架ヨリ
 下シ其傷ヲ反常シフエオドルニ謂テ曰ク我等ノ主イイススハ

リストスノ恩佑ニヨリテ慶ビ且ツ堅ク立テヨ蓋シ主神ハ
 爾ト偕ニス爾何ソ神我ヲ捨ルヤト云ヒシヤ爾功德ヲ成
 シ主ニ來リ爾ノ爲ニ備フル所ノ不死ノ榮冠ヲ受ク可シト
 言終リテ神使飄然トシテ去リヌ而シテ聖致命者フエドルハ
 主ノ恩ニヨリ創チ癒サレ且ツ固メテ高聲ニ主ヲ讚美
 セリ
 黎明、帝ハ百夫長アンテイオフ及ヒパトリキイノ二人ヲ遣ハ
 シテ將軍ノ死体ヲ十字架ヨリ下シ錫函スノコニ入レ海ニ投セシ
 メントセリ蓋ハハリストスノ爲ニ死スル者ノ遺骨ヲ敬ヒ
 葬ムルハリステイアコンノ手ニ渡スヲ欲セザレハナリ帝

ノ使者刑場ニ至リフエドルガ十字架ノ下ニ坐シ聲高ラカ
 ニ主ノ名ヲ讚揚スルヲ見、驚嘆ノ餘リ茫然トシテ爲ス所ヲ知
 ラズ此ク奇蹟ヲ見タルパトリキイ遂ニ神ノ力ヲ悟リ呼テ
 曰ク「ハリステイアコン」ノ神ハ至大ナリ他ニ神ナシト二人近
 ズキフエドルニ云テ曰クハリストスノ致命者ヨ爾ニ祈ル
 請フ我等ヲ受ケヨ今ヨリシテ我等モ亦「ハリステイアコン」ト
 リト又彼等ト偕ニスル兵士ノ俄ニ信スル者七十人アリタ
 リ
 リキニイ帝此ノ事ヲ聞キ知リ首將シキヤノ一人シクストヲ遣ハ
 シ三百人ニ將トシテ信者ヲ尽ク捕ヘシメントセシガフエオ

シタリ大難ヲ受ケシ時、常ニフエオドルト偕ニセシア
 聖フエオドルカ苦難ヲ受ケシ時、常ニフエオドルト偕ニセシア
 ヲガリハ聖致命者ヲ記憶スルガ爲メ且ツ他ノ「ハリステイア
 ニ」等ガ其ノ傳ヲ讀ミ善キ例ヲ得、主ハ眞ニ主ヲ呼ビ誠ニ
 主ヲ信シ己レヲ棄テ主ノ聖名ヲ承諾セル者ヲ捨テザルヲ
 悟ラシメンガ爲メ聖大致命者ノ全傳ヲ編ミタリト云
 ○聖致命者ニキホルノ苦難二十一日
 「ハリステイア」云ヘル「ハリステイア」ニ「アリ
 司祭サボリキイト友トシ善ク、交誼日ニ厚カリキスグテ若
 干ノ歲月ヲ過ギケルニ惡鬼ノ誘フ所トナリ惡念互ニ生シ

親和忽チ破レ爭論止ムナク昔日ノ親密ナルコ反シ今ハ仇
 敵トハナレ漸久シキ後ニキホルハ不和爭論ハ罪科ニシ
 神意ニ適ハザルヲ悟リサブリキイト和睦セント欲セシ
 モサブリキイハ之ヲ聞クヲ欲セザリキ一日ニキホル
 友人ニ依頼シテ之ヲ中裁セシメ且ツ自ラサブリキイノ許
 三到リ垂泣シテ若シ罪アラバ之ヲ容シテ再ビ親睦センコ
 トヲ請ヒ且ツ説クニ「イスス」ハリステイアガ我等ヲ戒ムルコ
 人、相愛シ誹者ヲ許スヲ以テシ又、主ハ自ラ之ヲ行フニ非ズ
 ヤト云々レヒサブリキイハ心猶解ケズ主ハ恨ヲ心中ニ結
 プ者ノ祈禱ヲ聽入レザルヲモ忘レニキホルノ請ヲ聞ク

一ヲ欲セズニキホル彼レノ足下ニ俯伏シ益々彼ニ和睦セ
 シ一ヲ請願スルニサブリキイ默シテ外ニ出テ昔日ノ親友
 ナ視ルヲタモ欲セザリキ
 此ノ事ノアリシハ大約第三世代ノ半ナリ此ノ時竈逐大ニ
 起リ「ハリステイアニン」ヲ追捕セシカバサブリキイハ司祭ナ
 ルヲ以テ衆ニ先チ捕ハレテ裁判所ニ引カレ恐ルハ色ナク
 己レノ信仰ヲ表セシカバ長官告ケテ曰ク我等ノ王ワレリ
 アン及ビガルリエンハ凡ソ「ハリステイアニン」ト稱スル者ヲ
 シテ諸神ヲ祭ラシメ若シ聽カザレバ死刑ニ行フ一ヲ命セ
 ン「下」ハ「上」キイ曰ク我ハ「ハリステイアニン」ニソ唯天地ノ造

物主ナル眞實ノ神ヲ伏拜シ人ノ手ニ作ラレシ偶像ヲ拜ス
 ル能ハズ「下」長官之ヲ聞キサブリキイヲ痛ク苦マシムル
 一ヲ命セリサブリキイ堅忍不拔諸難ヲ受ケ長官ニ語リテ曰
 ク爾ハ唯我が肉体上ニノミ權アレヒ我が靈ハ之ヲ造ルノ
 主之ヲ守レリ「下」長官諸難ヲ以テサブリキイヲ變心セシ
 シ其ヲ信向ヨリ反離セシムルヲ能ハザルヲ知り遂ニ死刑
 ニ定タタリ
 獄吏、司祭ヲ刑場ニ送致スルノ時ニキホル之ヲ遮リサブリ
 キイ「足下ニ俯伏シテ曰ク「ハリストス」ノ致命者ヨ我レ若
 シ爾ノ前ニ犯罪セシユアラズ之ヲ宥セヨ」ト然ルニサブリ

キイハ怒ヲ合^フミ敢テ之ヲ願ミズノ歩ヲ進メタリニキホル
 重テ曰クハリストスノ致命者ヨ吾レ人ナレハ爾ノ前ニ犯
 罪セシ^テアラバ之ヲ宥セ爾將ニ致命者ノ榮冠ヲハリスト
 スヨリ受ケントス蓋シ主ニ反離セズノ堅ク其ノ名ヲ承認
 セシニ因ル願クハ死ニ先ンシテ我ヲ宥セ^ト然ルニサブリ
 キイ恨念猶ホ未ダ止マズニキホルニ答フル^トモ欲セザリ
 キ
 斯クテサブリキイヲ護送セシ兵士等ハ彼カ死ニ先テ恨念
 不和ノ猶ホ深キヲ見テ大ニ驚キ因テニキホルニ謂テ曰ク
 此ノ人將ニ死ナントス復タ害ヲ爾ニ行フ能ハズ何ソツ其

ノ宥ヲ請フ切ナルヤ^ト曰ク我レハリストスノ承認者ニ請
 フ所ノ者爾等之ヲ知ラズ唯神上帝之ヲ知ルノミ^ト既ニ刑
 場ニ到ル時ニキホル三ダヒサブリキイニ謂テ曰クハリス
 トスノ致命者ヨ爾ニ祈ル我レ人ナレバ若シ爾ニ向テ犯罪
 セシ^テアラバ我ヲ宥セ蓋シ謂ル^トアリ曰ク赦ヲ請フ者ハ
 赦ヲ得ント故ニ我レ爾ノ我ヲ宥サントヲ請フ^ト斯ク懇々
 其ノ赦宥ヲ請フモサブリキイ怒リ猶ホ未ダ止マザレバ主
 ハ其ノ殘忍無情ヲ罰シタリ福音ニ云ヘルアリ人ヲ赦ス者
 ハ己レモ赦サルヲ得可シ何ノ量ヲ以テ人ヲ量レハ爾モ量
 カラレ^ト公義ナル主審判者ハサブリキイノ身上ニ此ノ

聖言ヲ實行シ彼ヲ諸難ノ中ニ鞏固セシ恩賜ノ力ヲ奪ヒケ
 レハ殘忍苛酷ノ性質ナルサブリキハ因循卑屈シ遂ニ死
 ナ怖ルニ至リタリサブリキイハ既ニ千辛万苦ヲ冒シ今ヤ
 低頭シテ又ヲ受ケ天國ノ大宅ニ入り當ニ致命ノ榮冠ヲ戴
 キ永福ヲ嗣シ可キノ時ニ當リテハリストスヲ棄テ高聲呼
 テ曰ク我ヲ殺スヲ勿レ我レ悉ク王命ニ従ヒ諸神ヲ拜シ祭
 リテ壇上ニ獻セソトニキホル此ノ言ヲ聞キ驚愕シ呼テ曰
 ク至愛ナル兄弟ヨ何ヲ爲セシヤ能ク思念シテ我等ノ主ヨ
 リ反離スルヲ勿レ爾辛苦艱難ヲ嘗ンテ獲ル所ノ天ノ榮冠
 ナ失フ勿レ今爾既ニキリストスノ室ノ戸傍ニ立テリ而シテ

主ハ其ノ聖名ノ爲ニ受クル所ノ片時ノ死ノ爲ニ永遠ノ生
 命ヲ與ヘントスト然ルニキホルノ勵言ハ效ナクサブリ
 キイ心ヲ閉チ仁愛慈善ノ言ヲ容レザルガ如ク今又救贖ノ
 諭言ヲモ容レズ唯心恐々トシテ死ヲ脱センヲノミ思ヒ再
 ビ呼テキリストスヲ弄テケレバニキホル兵士ニ向ヒ呼テ
 曰ク我ハ「ハリスティアニ」ナリ我ヲ刑ニ行ヘヨト兵士ノ一
 人長官ノ許ニ到リサブリキイハハリストスニ反離シ他ニ
 人アリ己レヲ「ハリスティアニ」ナリト自證シテ死ニ就クヲ
 請フト訴ケレバ長官サブリキイヲ救免シニキホルヲ刑ニ
 處スルヲ命ジタキニキホル健氣ニモ欣然トシテ頭ヲ低

レ白刃ヲ受ケ主ノ聖名ノ爲ニ致命セリ

○廿二日

此ノ日羅馬帝セウエルノ時窘逐セラレシマク子シヤ城ノ主
教神品致命者聖ハルラムピイヲ紀念セリ彼レ難ヲ受クル
時神ガ己レノ奉事者ニ賜フノ殊恩ト神ノ力ノ奇異ナル顯
ハレニ因リテ多クノ異教人ヲ眞理ニ歸セシメシカ遂ニ死
刑ニ定メラレ未タ白刃ヲ受ケサルサキ己レノ魂ヲ主ニ復
歸セリト云

○神品致命者聖ウラシイノ紀念 二十三日

幼キ時ヨリ主神ニ奉事セシ聖ウラシイハ後カッパトキヤ郡

セウステヤ城ノ主教トナリシガディオクリティアンノ時、嚴命
ヲ下シテ「ハリスティアニン」ヲ窘逐シケレハ主教ハ艱難ニ遇
フ者ヲ勵マシテ其ノ辛苦ヲ忍耐セシメ且ツ獄舎ニ繋ガル
、者ヲ訪ヒ信愛ノ言ヲ以テ此ノ人々ヲ慰藉セリ此ノ時セ
ウステヤノ「ハリスティアニン」ニ窘逐ヲ受ル者夥多アリ或ハ
原野若クハ深林ノ間ニ避ケ窘逐ノ止ムヲ待ツ者モ多クシ
テ城中殆ント「ハリスティアニン」ノ止マル者ナシウラシイ之
ヲ見、城ヲ去リアルゲオスト稱スル山ノ洞窟ニ遷リ祈禱勤
勞嚴齋ノ中ニ日ヲ送り猛獸飛鳥ヲ友トセシガ彼等モ亦聖
者ノ徳ニヤ感ヨケン其ノ立テ祈禱スルヲ見レハ敢テ洞窟

ニ入ラズ外ニ立テ其ノ祈禱終ルヲ待テリウラシイ出テ之
ト戯ムレ手ヲ以テ撫テ其ノ病或ハ傷ヲ癒シタリ此ノ人跡
ノ絶エタル洞窟ノ中コテオクリテアンノ窘逐ノ時ヲ送リ
リキニイノ窘逐ノ始ニモ亦孤棲セシガリキコイノ時縣官
ガ兵士ヲ遣ハシテ猛獸ヲ退治スル時適々アルゲオス山ニ
至リウラシイノ棲ミシ洞窟ノ傍ニ猛獸ノ多キヲ視近ツキ
テ洞窟ノ中ニ立テ祈禱スル翁アルヲ見タリ兵士等一言モ
交ヘズ直ニ歸リテ洞中ニ見ル所ヲ以テ具サニ官ニ訟ヘシ
カバ長官ハ其ノ隱避シタル「ハリステイア」ナルヲ知リ之
ヲ捕ヘントシテ又兵士ヲ遣ハセリ兵士等野ニ至リ長官ノ

命ヲウラシイニ傳ヘシニウラシイ泰然トシテ承諾シ且ツ
謂テ曰ク善哉我子ヨ我レ爾ト偕ニ行カン主ハ我ヲ願リミ
昨夜三タヒ我ニ顯ハレ起テ爾ノ神品ニ從ヒテ祭ヲ獻セヨ
ト云ヘリトウラシイ起テ兵士等ト偕ニ行キ路ニ謙遜ト愛
トヲ以テ神ノ教ヲ説キ神ノ威力ニ依リテ奇蹟ヲ行ヒ多ク
ノ同道ノ者ヲノ眞神ニ轉ゼシメタリ路上多クノ人々ハ病
者ヲ携ヘ出デ之ヲ迎ヘ助ヲ請ヒケレバ仁慈ナルウラシイ
ハ威ナ之ヲ助ケ唯然セシノミナラズ其ノ愛ハ獸ニ及ビタ
リ
茲ニ一ノ貧婆アリウラシイノ足下ニ伏シ流涕シテ曰ク狼

アリ來リテ我が殘餘ノ一小豚ヲ攘^ヌミ去レリ」トウラシイ微
 笑シテ曰ク泣ク「勿レ爾ノ小豚ハ害ナク全フシテ歸ル
 ヲ得ベシ」ト實ニ聖者ノ言ノ如ク狼來リテ其ノ豚ヲ返シケ
 レバ貧婆大ニ喜ビ且ツ歎感セリ露國ニ於テ今ニ至ル迄聖
 ウラシイヲ諸畜ノ守護者ト崇メ尊ベリ
 聖ウラシイセワステイヤニ至リ法庭ニ出テシ時長官先ツ温
 言ヲ以テ之ヲ諭シテ心ヲ變ヘ主ノ教ニ反離セシメントセ
 シガ然レトウラシイハ決然偶像ヲ拜スル能ハズト答ヒケ
 レバ長官痛ク彼ヲ鞭撻セシメタルモウラシイ不屈シテ拷
 治ヲ受ケ且ツ長官ニ謂テ曰ク爾苦ヲ以テ我ヲ我が信認セ

シ所ノ神ヨリ反離セシメント欲スルハ無益ナリ我ヲ鞏固
 スルイイススハリストスアリ爾ガ欲スル所ヲ以テ我ニ行
 ヘヨ」ト

拷治ノ後ウラシイ獄舎ニ繋ガレタリシガ先キニウラシイ
 ガ垂憐セシ貧婆此ノ事ヲ聞キ己ノ小豚ヲ屠^ウリ首ト股トヲ
 以テ羹^{アツモン}ヲ作り且ツ野菜ト果物トヲ携ヘテ獄舎ニ至リ聖者
 ニ遣リケレバウラシイ欣テ其ノ厚情ヲ謝シ之ヲ受ケ婆ヲ
 祝福シ之ニ年毎ニ己レノ紀念ヲ爲スベキヲ命シ且ツ其ノ
 家ニ神ノ恩佑ノ降ルコトヲ約シタリ
 數日ノ後長官又ウラシイヲ法庭ニ召シ謂テ曰ク若シ諸神

ニ獻祭セズンハ極刑ニ處セントウラシイ答テ曰ク天地ヲ
 創造セザル諸神ハ將ニ亡ビントス爾、我ヲ恐嚇スルノ死ハ
 我ヲ永生ニ中保セント長官其ノ堅忍不拔ナルヲ見、更ニ之
 ヲ苦シムルヲ命ジウラシイヲ樹ニ掛ケ鉄鈎ヲ以テ搔キ
 裂カシメタリ然ルニ聖ウラシイハ從容トシテ諸難ヲ受ケ長
 官ニ謂テ曰ク爾、苦ヲ以テイイススハリストスノ守護シ玉
 ヘル我ヲ威服セシメント欲スルカ我レ目前ノ苦ヲ怖ル、
 一ナシ主ガ主ヲ愛スル者ニ約シ玉ヘル將來ノ幸福ニ我レ
 思ヲ注ケハナリト長官、之ヲ見テ致命者ヲ木ヨリ下シ再々
 ヒ獄舎ニ繋ガシメタリウラシイヲ引キ行ク時、虔敬ナル七

人ノ婦アリ敬シテ聖者ノ創ヨリ淋ダル血ヲ拭ヒシカバ長
 官ノ僕之ヲ見、彼等ヲ捕ヘ法庭ニ出シ訴テ曰ク此ノ婦モ亦
 「ハリステイア」ナリト長官之ヲ聞キ偶像ニ獻祭スルヲ
 命ジタリシニ虔敬ナル婦等偶像拜者ノ前ニ邪神ノ空虚ナ
 ルヲ論シ且ツ救ノ道ヲ授ケント欲シケンバ長官ノ命ニ
 從フ爲シテ先ツ近傍ノ湖水ニ至リテ沐浴シ且ツ偶像ヲ拜
 セシガ爲ニ之ヲ携ヘ出テソノヲ請ヒケレバ長官快ヨク之
 ヲ容シ偶像ヲ彼等ニ渡シ兵士ヲ之ヲ護送セシメタリ聖
 ナル婦等、湖水ノ濱ニ至リ忽チ偶像ヲ水底ニ投ケ異教ノ諸
 神ノ信スルニ足ラザルヲ證セシカバ長官聞イテ大ニ憤リ

婦等ヲ詰問シ且ツ主ニ反離セシメシメテ爲メ法庭ニ出シ吏
 ニ命シテ法庭ノ一方ニ怖ル可キ刑具ヲ羅列シ又一方ニ綺
 羅錦繡及ヒ種々ノ寶石眞珠ヲ積マシメ之ヲ諸婦ニ示シテ
 曰ク諸神ヲ拜シ祭ヲ献ズ可シ然ル時ハ爾等ノ生命ヲ全フ
 シ此ノ珍寶ヲ與ヘ身ヲ飾ルヲ得セシムベシ若シ諸神ヲ
 拜スルヲ欲セズンバ極刑ニ處セン爾等意ニ任セテ其ノ欲
 スル所ヲ擇ベヨト之ヲ聞キ諸婦ノ中ニ二童ヲ携ヘシ者起テ錦
 衣ヲ火炎ノ中ニ投ケ棄テケレバ二童ノ母ニ謂テ曰ク我等ノ潔
 キ母ヨ我等ヲ捨テ、地ニ亡ボサシムルヲ勿レ慈母ヨ爾ハ我等
 ノ孩ミドリゴタル時懷ニ抱キ乳ヲ以テ養ヒシ如ク今亦天筵ニ與カ

レヲ得セシメヨト長官ハ諸婦ガ命ニ從ヒテハリストスニ
 反離スル勢ナキヲ見、痛ク苦シムルヲ命シ鉄鈎ヲ以テ其
 ノ身ヲ搔キ裂カシム然ルニ神使、諸婦ニ顯ハレ之ヲ鞏固シ
 テ曰ク懼ル、ト勿レ爾ノ偉勳ヲ繼キ行フ可シ彼ノ善ク勉
 勵スル耕夫カ耕ヲ終ヘ賞ヲ得テ家ニ歸ルガ如ク爾等モ亦
 粉骨碎身、努力シテ主ヨリ永遠不死ノ生命ヲ受ク可シト
 長官怒リテ致命女等ヲ烈火ノ中ニ投セシメタリ然レト燒
 クルヲナク火中ヨリ出テ益々堅ク主ヲ承認セシカハ長官
 益々怒リテ死刑ヲ宣告セシカバ諸婦皆跪拜シ祈リテ曰ク
 我等ノ至大ナル神ヲ讚美シ且ツ我等ヲ救贖ノ道ニ導キ我

等ヲ黑暗ヨリ出シ爾ノ真理ノ光ニ就カシムル永遠ノ王ハ
 リストスヲ讚揚ス主ヨ爾ニ祈ル我等ヲモ聖致命女ノ首メ
 ナルフェシラト借ニセシメ玉ヘ且ツ我等ヲ真理ニ導ビキシ
 我等ノ聖ナル父ウラシイノ祈禱ヲ納レテ我等ヲ憐レミ玉
 ヘヨト祈リ終リ遂ニ皆斬首セラレタリ
 ウラシイニ三ダヒ法庭ニ召サル、モ堅忍不拔猶ホ前説ヲ述
 テ曰ク我が肉躰ヲ寸斷スルモ爾ノ意ニ任セン然レト我カ
 魂ハ唯主ニ属スルノミト長官曰ク若シ我レ爾ヲ湖水ニ
 投セバ爾ノ承認セシハリストスハ爾ヲ助クルヤウラシイ
 曰ク我が神ノ力ハ湖上ニ在ルモ必ず顯カレント長官直ニ

ウラシイヲ湖水ニ投ビシモ彼レ徐々トシ水上ヨ歩ミテ中
 央ニ至リ止マリテ兵士等ニ云テ曰ク爾等モ爾等ガ諸神ノ
 威力ニ依リテ水上ニ歩ムベシト六十八人ノ兵士己レノ諸
 神ニ祈リ奮フテ水上ニ歩マントセシモ尽ク水底ニ溺死セ
 リ時ニ神使聖ウラシイニ顯ハレテ曰ク恩佑ヲ滿被セル神
 ノ司祭長ヨ水ヨリ上リ神カ爾ノ爲ニ備ヘタル榮冠ヲ受ケ
 ヲト聖致命者顔光奇異ニシ欣喜ノ色ヲ顯シ陸ニ上リシカ
 バ長官ハ六十八人ノ兵士ヲ殺シタリト爲シテ聖ウラシイ
 ナ死刑ニ處セリ
 聖ウラシイ刑場ニ上リ先ツ全世界ノ平安ト死後己レヲ紀

念スル者ノ爲ニ祈リ主ノ許ス所トナリ頭ヲ垂^タレテ刎首セ
ラレ其ノ時先キニ致命シシ婦ノ二童モ亦彼ト與ニ刎首セ
ラレタリ

○アンテオヒヤ城ノ大主教聖メレタイノ傳廿四日

第四世代ノ頃異端、邪説、競ヒ起リテ教會ヲ騒動セシガ殊ニ
甚シキハ神父ト神子ト一性ナラズト云ヒシアリイノ異端ニ
ノニケヤノ聖地公會ニ於テ闢明、闢除セラル、モ猶ホ信ズ
ル者多クコンスタンティン大帝ノ子コンスタンティン帝モア
リイノ説ヲ信シ己レニ同意ヲ表セザル主教等ヲ窘逐セリ
當時多クノ諸城ニ正教トアリイ党ノ主教二名アリ神品俗

家各、已レノ信ズル所ニ從ヒ其ノ主教等ハ常ニ相抗抵シテ
互ニ其ノ權ヲ制セリ然レトアリイ党ハ全アリイ半アリイ
ノ二派ニ分レ互ニ敵視シ到ル所イイススハリストスガ誠
メ命ゼシ所ノ相愛ノ親睦ニ反キ各方爭論紛々トシテ遂ニ
血ヲ流スニ至リタリ

是ノ如キ艱難ノ際ニ當テセワステイヤノ主教タリシアル
メニヤ人メレタイハ異口同音ニ擇ハレテアンテオヒヤノ
大主教ニ舉ゲラレタリアンテオヒヤ城中ニアリイ党ハ正
教人ニ較フレバ甚ダ多ケレト此ノ撰舉ノ時ニ同意ヲ表シ
新任ノ大主教ガ已レ等ノ同意者ヲラノイヲ欲セシガ久シ

カラズ其ノ望ノ誤ヤリシヲ了レリ。メレタイイガ擇ハレ
 テ三十日ノ後、聖堂ニ在リテ説教セシ時、來聽者ハ正教人ト
 アリイ党トヲ問ハズ大主教ノ表信スルヲ今ヤ遲シト待チ
 居タリ
 斯クテメレタイイハ公衆ノ前ニテ徐々トニクヤノ公會ニ於
 テ確定セル定理ヲ賛言シイイスハリストスハ神、父ト一
 性ニソ大小尊卑ノ別ナク父ト偕ニ造化主ナルヲ演ヘ正
 教ヲ信認セシカバアリイ黨ノ人々大ニ怒リ輔祭長ノ一人
 ニテ偽教ノ熱心者進ミ出テ大主教ヲ黙シシメントシテ手
 チ以テ其ノ口ヲ掩ヒシガ大主教ハ至聖三者ヲ象ドリ手チ

舉ゲテ三指ヲ伸シ二指ヲ屈リ之ヲ群衆ニ示シテ一休ノ神
 性ヲ表シタリ輔祭長、再ヒ其ノ手ヲ取り之ヲ止メケレバ更
 ニ説キ出シテ堅心變ラズ真理ヲ守ル可キヲ民ニ勸メ一
 性ニソ別レザル聖三者ヲ讚揚セシユヘ輔祭長、大ニ憤リ大
 主教ヲ制止セント欲セシモ正教ノ人々ハ欣喜限リナリ聲
 高ラガニ一性ニソ別レザル聖三者ヲ讚揚セシカハアリイ
 党ノ人々益々憤怒ニ堪ヘズ大主教ヲ聖堂ヨリ追ヒ出シ之
 チ誹謗シ且ツ偽教者ト罵リタリメレタイイ天質剛毅ナレド
 モ甚タ謙遜ニシテ之ヲ和解センヲ務メ教徒ニ授グルニ
 諸徳義ノ龜鑑ヲ以テシ且ツ能ク人々ノ能ヲ計リテ之ヲ用

非タリ後イエルサリムヨリアンティオヒヤ城ニ來ル聖大ワ
 シリイヲ立テ輔祭トナシ又幼ナキ金口イオアンノ後來、爲
 スベキノ人タルヲ悟リ勸メテ聖書ヲ學バシメ之ニ洗禮ヲ
 授ケ次テトクキヤウシヤ讀經者ト爲シタリ
 斯クテアライ黨ノ人々ハ志ノ成ラザルヲ見コンスタンティ
 イ帝ニ勸メ聖メレタイイナルメニヤニ流シ自ラアライ黨
 ノ人ヨリ主教ヲ撰ビタリ此ノ事ハ皆甚ク無法ノ所爲ナリ
 如何ントナレハ公會ニテ擇ハレタル大主教ヲズ貶スルハ再
 ヒ公會ヲ開クニ非レハ能ハザルナリ初メ聖メレタイイヲ擇
 ビタル公書ハサモサトノ主教エウセワイ之ヲ預カリシガ

アライ黨ノ人々コンスタンティイ帝ヲ眩惑シ之ヲエウセワイ
 ヨリ取り戻サントシケルニエウセワイ使者ニ告テ曰ク我
 カ信服スル所ノ者ニモ猶ホ且ツ與ヘズ況ンヤ其ノ他ノ人
 ニ於テ、チヤト帝大ニ憤リ威嚇スルニ右手ヲ切ルヲ以テセ
 シコエウセワイ使者ニ謂テ曰ク兩手ヲ斷ル、モ猶ホ我レ
 公書ヲ與ヘズト斯ク主教ノ剛毅ナルヲ見テ敢テ之ヲ害ス
 ル者ナカリキ然ルニメレタイイハコンスタンティイ黨ノ死ニ
 至ル迄テソノ配所ニアリテ幾多ノ星霜ヲ送リタリ
 コンスタンティイ崩ズル後、大帝コンスタンティンノ姪、背教者
 ユリアン位ニ即キシガユリアンハハリストス教ヲ以テ教

育セラル、モ心竊ニ之ヲ嫌ヒ帝位ニ即シヤ直ニ正教ヲ棄
 テ異邦ノ諸神ニ熱信奉事スル者トナリタリユリアンハ迫
 害窘逐ヲ以テハリストス教ノ弘布ヲ妨害スル能ハザルヲ
 了^ラリ狡猾ナル手段ヲ按出シ即チ大ニ「ハリステイアニン」ヲ輕
 蔑シ「ハリステイアニン」ノ學校ヲ閉チ或ハ「ハリステイアニン」ハ
 華美ナランヨリハ質素ナルゴツ宜クントテ其ノ歲入ヲ沒
 収シ而メ異教ヲ盛ニセント欲シ異教人ニ詔^{ミコトノ}リノ諸罪ヲ悔
 ヒ改メ嚴肅ナル行ヲ爲シ世ノ歡樂ヲ謝棄セシメ人々ヲ憐
 レミ學校病院旅館等ヲ設立シ邪神ノ殿ヲ修飾セシメテ「ハ
 リステイアニン」ニ優^{ユク}ラシメントセリ又、宗教上ニ一視同仁ヲ

示シ其ノ相ヒ互ニ爭論シテハリストス教ノ衰滅スルニ助
 シル所アラント思ヒ正教人トアリイ黨ノ人トチ問ハズ先
 ニ流サル、主教等ヲ配所ヨリ召シ還シタリ時ニ聖メレテイ
 イモ他ノ主教等ト偕ニ歸ルヲ得テアンタイオヒヤニ到リ
 シカバ教徒別レテ二派トナリ一ハメレテイカ在ラザル時、
 立テラレタリシパウリンヲ以テ主教トナシ一ハパウリン
 派ノ人々ト交際ヲ絶ナメレテイイノ歸ルヲ待チ居タル者ナ
 リ然ルニ聖メレテイハ大ニ其ノ不和ヲ憂ヒ之ヲ親睦和合
 センヲ力メシモ幾クナラズシテ又窘逐起リ避テアンタイ
 オヒヤ城ヲ出テザル可カラザルニ至レリ

此ノ事件ノ起リシ次第ヲ尋ヌルニ初メユリアン兵ヲ率ヰ
 ペルシヤヲ征セシ時アンテイオヒヤニ駐在セシガ郭外ノダ
 フネニ「アホルロン」ノ殿アリ昔日堂高ク雲際ニ聳テ美觀ナ
 リシモハリストス教ノ傳布スルニ從ヒ異教ノ神殿ニ獻祭
 スル者カク日ニ從ヒテ舊觀ヲ失ヒ寂々トシテ人跡ヲ絶ツ
 ニ至リシガ之ニ反シテ程近キ聖ツワイラ(聖ツワイラハアンテ
 オヒヤノ主教ニシテデキイ帝ノ時ニ窘逐セラレ獄舎ニ繋
 ガル、時三童ヲ歸正セシメ而シテ借ニ斬首セラレシ人ナリ
 九月十七日其ノ紀念祭ヲ行ヘリ)ノ聖櫃ヲ安置セル聖殿ハ
 常ニ參拜スル者最ト群集セリユリアン「アホルロン」ノ殿ニ

詣リテ遠征ノ吉凶ヲ祈ルモ驗應ナシ且ツ神官等常ニ「ハ
 ステイアニン」ヲ嫌忌シケレバ其ノ不吉ヲ顯ハセシハ致命者
 ノ聖櫃ニ隣リセル故ナリト帝ニ讒訴セシカハ帝命シテ其
 不朽体ヲ他ニ遷サシメタリ「ハリスティアニン」ハ最ト殿ニ儀
 仗ヲ備ヘテ聖詠ヲ謳歌シツ、聖櫃ヲアンテイオヒヤノ首堂
 ニ遷座セリ斯クテユリアンハ命シテ大ニ「アホルロン」ノ殿
 ナ修理シ工成リ將ニ明日ヲ以テ再建ノ禮典ヲ行ハントセ
 シ夜偶々此ノ殿尽ク燒失シタリダフネノ人々ハ火アリ天
 ヲ降リテ殿ヲ燒タリト証スルモ帝ハ「ハリスティアニン」ノ
 所業ナリトナシ又残酷ナル窘逐ヲ爲シケレハ多ク「ハリス

ティアニノ等難ヲ受ケ聖メレテイイモ亦放逐セラレタリ其ノ
 後、幾クナクシテユリアン軍中ニ崩シケレハ嗣帝イオウイア
 ン位ニ即キ聖ノレテイイヲ配所ヨリ召還シアンテイオヒヤ城
 ニ地方公會ヲ開キケレバアリイ黨ノ人々モ猶ホ能クニケ
 ヤ|| 城ノ公會ニ於テ可決セシ所ノ定理ニ同意ヲ表シタリ然
 ルニ又幾クナラズシテアリイ黨ノ熱信者ナルワレント帝
 イオウイアンニ嗣キテ帝位ニ即キケレバ一時偽教大ニ隆盛
 シ窘逐又起リテ正教ノ主教等ヲ迫害シ聖メレテイイモ三ク
 ビアンテイオヒヤ城ヲ逐ル、ニ至リタリ
 其ノ後聖メレテイイハシラチアン帝ノ爲ニ召還サレ復テ教

徒チ牧シタルモパウサン黨ノ人々ハ聖メレテイイヲ辱ハズ
 而シテパウサンハ自テロマンノ「バーバ」バマスヲ引テ後盾ト爲
 シケレバ會中騒動尙ホ止マザリキメレテイイハ粉骨碎身シ
 テ教會ノ親睦セシヲ務メシニケキリヤノ主教、聖大ワリ
 リイモ大ニ力ヲ尽シメレテイイヲ助ケテ與ニ「ハリスティアニ
 ン」ニ正教ヲ固守スルヲ勸メタリ此ノ時メレテイイハ登塔
 修士シメオンガ世ヲ避ケ鉄鎖ヲ以テ身ヲ大石ニ縛リテ道
 ヲ修ムルヲ聞キ其ノ隠レタル山ニ到リ之ニ云テ曰ク人能
 クツカセ械ヲ用キズン己レニ克ツヲ得ベシ即鉄鎖ヲ用キズン心
 志ト智徳ヲ以テ己レヲ治ム可キナリトメメオン其ノ言ヲ

然リトナシ鉄鎖ヲ脱シ増々魁メテ慾ヲ絶チ肉休ヲシテ至ク
 魂ニ從ハシメタリト云
 聖マレテイガ世ヲ逝ルノ先大フエオドシニ大位ヲ嗣ギタリ
 フエオドシイ未ダ擇ハレテ帝位ニ即カザル先キ一夜、聖マレ
 テイカ帝冠ト紫袞衣ヲ授ケルヲ夢見此ノ奇夢幾クモナク
 シ應シタリ初メクラチアノハ諸蠻ガ入寇シテ止マザル時
 ニ嘗リ己ノ威力能ク之ヲ制スルニ足ラザルヲ知リ智勇兼備
 ノ大將フエオドシニ奉テ舉テ與ニ政ヲ執ラシメシニクラチア
 シノ崩ズル後フエオドシイ獨リ政ヲ執リ外敵ヲ征シ内亂ヲ
 平ラシ能ク民ヲ治メ大帝ノ稱ヲ受クルニ至レリ前ニ述ベ

シ如ク當時爭論アリテ互ニ不和ナリシカバ教會中穩カナ
 ラズ前朝ノ時アリイノ異端獨リ盛ナルノミナラズ又マケド
 ニイノ異端起リ聖神ノ神ナルヲ認メテ認識スルニ神子ノ造
 物ナルヲ以テセリ故ヲ以テフエオドシイ帝ハ之ヲ闡明セシ
 ガ爲メ降生三百八十一年ニ於テコンスタンティノールニ
 公會ニ開設セリ是レ即チ第二、聖全地公會ナリ此ノ公會ニ
 於テマケドニイノ岐教ヲ闕除シニケヤノ信經ニ後ノ五端
 ヲ加ヘ聖神ノ父ト同一性ナル眞理ヲ闡明シ以テ信經ヲ完
 全鞏固セリ
 聖マレテイハ他ノ主教等ト偕ニコンスタンティノールノ

然リトナシ鉄鎖ヲ脱シ増々勉メテ慾ヲ絶チ肉体ヲ全ク
 魂ニ從ハシメタリト云
 聖^レテイイガ世ヲ逝ルノ先大^フオドシイ大位ヲ嗣ギタリ
 フ^エオドシイ未ダ擇ハレテ帝位ニ即カザル先キ一夜、聖^メシ
 テイイカ帝冠^ト紫^シ衰^コ衣^イヲ授ケルヲ夢見此ノ奇夢幾クモナク
 ヲ應シタリ初メク^ラヤアンハ諸蠻カ入寇シテ止マザル時
 ニ營^リ己^ノ威力能ク之ヲ制スルニ足ラザルヲ知リ智勇兼備
 ノ大將^ワオドシイヲ舉テ與ニ政ヲ執ラシメシニク^ラヤア
 シノ崩スル後^フオドシイ獨^リ政ヲ執リ外敵ヲ征シ内乱ヲ
 平ラシ能ク民ヲ治メ大帝^ノ稱ヲ受ケルコ至レリ前ニ述ベ

シ如ク當時爭論アリテ互ニ不和ナリシカバ教會中穩^チカナ
 ラズ前朝ノ時^アリイ^ノ異端獨^リ盛ナルノミナラズ又マケド
 ニ^イノ異端起リ聖神ノ神ナルヲ認メズ認識スルニ神子ノ造
 物ナルヲ以テセリ故ヲ以テ^フオドシイ帝ハ之ヲ闡明セシ
 ガ爲メ降生三百八十一年ニ於テコンスタンティノ^ーポリニ
 公會ニ開設セリ是レ即チ第二、聖^レ全地公會ナリ此ノ公會ニ
 於テマケドニ^イノ岐教ヲ闡除シニケヤノ信經ニ後ノ五端
 ヲ加ヘ聖神ノ父ト同一性ナル眞理ヲ闡明シ以テ信經ヲ完
 全^ニ鞏固セリ
 聖^メレテイイハ他ノ主教等ト偕ニ^スタンテイノ^ーポリノ

公會ニ臨ミテ議長ニ擇バレタリ大帝フエオドシイ未ダ曾テ
 聖メレタイニ會遇^{フワイグ}セシイナキモ一見シテ先ニ帝冠ヲ授ケ
 帝位ニ即カシメタルト夢ミソ所ノ老翁タルイテ知り大ニ
 尊敬ヲ表セリ聖メレタイ公會ニ在リテ堅ク眞理ヲ主張シ
 岐教ヲ防ギタルモ公會未ダ半バナラザルニ年高ウシ世ヲ
 逝リタレバ神學者グリゴリイ次テ議長トナレリ而シテ聖大
 主教ノ遺骨ハコンスタンチノールヨリアンテオヒヤ城
 ニ遷シ聖ワソイラノ聖軀ノ傍ニ之ヲ藏メタリト云
 ○全^{キヤ}ロシヤノ奇蹟行爲者^{キヤ}キエフ府、府主教聖アレキ
 セイノ傳二十四日

聖アレキセイハ降生千二百九十三年ノ頃モスクワ府ニ生
 レタリ其ノ父フエオドルブヤコントハナルニゴフ侯國ノ名族
 ニシテ現今ノ貴族アレシセフ氏ノ祖先ナリ蒙古人^{モロコ}屢南^シ
 ヤチ侵シ居氏ノ財産貨寶ヲ掠奪セシ時ニ當リブヤコント家
 人ヲ携ヘ當時アレキサンドルネーウスキイノ子ダニイル
 アレキサンドル^シチ侯ノ君臨セルモスクワニ遷リシガ國
 侯ノ重ズル所トナリ公子イオアンハブヤコントノ長子領洗
 シテエレフフエリイト名ツクル者ノ代父トナリタリエレンフ
 フエリイ幼ナル時將來ノ運命ヲ預象セル一ノ奇夢ヲ見タリ
 シトツ其ノ事如何ト索ヌルニ或ル日小鳥ヲ捕ントシテ野

ニ出テ罟ヲ張リシガ終日一禽ヲ得ザレハ心樂マヌシテ丘
 上ニ憩ヒ思ハズ眠ニ就キシガ圃ヲザリキアレキセイヨ何
 ソン徒ニ勞スルヤ爾將ニ人ヲ漁スベキナリト云フ聲ヲ聞
 キ驚キ醒レハ一場ノ夢ニシテ今呼ヒシ者ハ誰タルカ又其
 ノ言フ所ハ何ノ意ナルカ少シモ解シ得ル能ハザリシ然レ
 ド是ヨリ後、少年ノ性質大ニ變シテ沈黙深慮ノ人トナリ兒
 戯ヲ爲サズ好テ聖書ヲ誦讀研究セリ
 エレフフェリイ心ヲ潜メ聖書ヲ研究シ主ヲ愛スルノ心、年ヲ
 追フテ増シ加ハリ一心主ニ奉事セシガ遂ニ修道院ニ入ラ
 ントスル念ヲ起シタリ彼レ固ヨリ國侯ニ仕ヘ顯官ニ昇ル

ベキノ道アレハ少シモ狐疑セズノ高邁シ世塵ヲ避ケモス
 クワノ「ボゴヤウレニイ」修道院ニ入り削髮シテ修士トナリ
 名ヲ改メテアレキセイト呼ヒタリ時ニ年已テニ二十歳ナ
 リ
 アレキセイ修道院ニ在リテ身ヲ修メ修士ノ職ヲ守リ日夜
 斷間ナク祈禱禁食シテ心ヲ練リ益々徳ヲ修メ二十年ノ星
 霜ヲ經、眞ノ「ハリステイアニ」タル者ノ諸徳ヲ備ヘタリ且ツ
 聖書ノ奧義ヲ究メント欲シグレナヤ語ヲ學ヒテ原書ヲ參
 考シ大ニ福音書ヲ校正セリアレキセイノ校正セシ聖書ハ
 今尙ホ奇蹟修道院ノ寶藏ニアリテ聖アレキセイノ紀念標

チ行フノ日聖體禮儀ノ時之ヲ誦讀セリ聖ペートルノ後任
 モスツワ府ノ府主教フエオグノストハアレキセイノ徳高シ
 ノ學識卓越ナルヲ聞キ召ビテ教會ノ事務ヲ委任セシガ當
 時教會多クノ紛擾アリテ尤モ艱難ノ時ナルモアレキセイ
 多年之ヲ治理シ勉勵經驗シテ大ニ教會ノ事務ニ練達シタ
 リ此ノ時アレキセイノ會テ居リシ「ボゴヤウレイニイ」修道
 院ノ掌院タルステファンノ弟ニシテラトチツノ林ニ靜然、孤
 棲スルセルキイト交ヲ結ビシガセルギイハ危坐、沈黙、祈禱、
 禁食、只管、神ヲ思念スルノミナルニアレキセイハ教會ノ事
 務ヲ責任シ國政ニモ參與シテ最ト多忙ノ身ナレハ二人ノ

爲ス所、雲泥ノ差アルモアレキセイノ世ヲ終ル迄、交ヲ結ビ
 其ノ友誼、日ニ厚ク使徒ハワエルガ恩ヲ賜フニ殊ナルアリ、惟
 靈ハ同ク一ナリ行爲ハ殊ナルアリ、惟、衆事ヲ衆中ニ行フハ
 乃チ一神ナリ、（哥前十二章）ト云ヘルガ如ク二人ノ靈ハ同ク
 一ナリキ

府主教フエオグノストハアレキセイノ人ト爲リテ見、其ノ徳
 義ナルヲ歎賞シ以テ己ノ後任タラシメント欲シ遂ニ主教
 ニ舉ケ己ノ管下ナルウラディミルノ主教部ヲ治メシメ己レ
 ノ志ヲ達シ且ツ死後ノ紛擾ヲ防ガンガ爲ニ大侯ノ認可ヲ
 受ケコンスタンティノポリガリ城ニ使者ヲ遣ハシ總主教及ビ

グレチヤ帝ニ請願シ他日ロシヤノ府主教ニアレキセイヲ
 舉ケ他ヲ命ゼラレンコトヲ以テセリ蓋ハ當時コンスタンテ
 ノーポリ城ハ未ダトルコ人ニ征服セラレズロシヤ國ノ府
 主教タル者ハ必ズ王城ニ在テ総主教ノ降福ヲ受ケ府主教
 ニ叙聖セラレベケレハナリ是ニ於テ総主教ハフェオクノス
 トノ請ヲ許シアレキセイヲコンスタンタイノーポリニ召シ
 タリ然ルニ先コ王城ニ至リシ使者ガモスクワニ還リタル
 時、府主教及ビ大侯モ已ニ世ヲ逝レリ蓋ハ當時黒死ト名ツ
 クル疫病、全ロシヤニ蔓延シ府主教ハ之ニ感シテ世ヲ逝リ
 シ後幾クモラズノ大侯モ之ニ感シテ死シタル也大侯死セ

シトナルキ其ノ弟ニ遺訓シテ故ノ府主教フコチグノストノ
 撰舉セシアレキセイヲ敬戴シ其ノ言ヲ聽クベキヲ以テセ
 リ時ニアレキセイ年已テニ六十歳ナリ
 アレキセイ総主教ノ降福叙聖ヲ受ケンガ爲メ王城ニ至リ
 ケレバ総主教ハ之ニ降福シテ神職ニ就カシメシガ其ノ神
 職ニ就クノ際、紛議ナキ能ハズ元トボルガリヤノ総主教ハ
 ロシヤニ府主教ヲ立ルノ權ナケレトフエドリト云ヘル
 者ヲ舉テロシヤノ府主教トナセシカバコンスタンテノ
 ボリノ総主教之ヲ認可セズシテ退ケタルモ又更ニロマ
 ン云ヘル一人ノ反對者起リコンスタンタイノーポリニ於テ

モ亦シレテナキノ帝位ヲ爭フ騷乱起リテハロシヤノ教會ノ事ニ
 モ其ノ影響ヲ及ボセリ其ハ総主教ハフィロフエィハ己レノ反對
 者ナル人ノ帝位ニ即クヲ見、王城ヲ去リシガ新任ノ総主教
 ハハロマンチ立テ全ハロシヤノ府主教トナシ是ニ於テ露國ニ
 二人ノ府主教立テ教會大ニ紛擾セシカバアレキセイ再々
 王城ニ至リ之ヲ総主教ニ訴ヘシカハ総主教之ヲ如何ン
 トモスル能ハズ遂ニ府主教部ヲ二分シアレキセイチノ大
 小ハロシヤチ治メシメタル也
 然レトキユフ主教部ハ第一ノ主教部タルヲ以テアレキセ
 イノ管下ニ屬セリ

アレキセイモスクワニ歸リ銳意、教會ヲ治メ躬自ラ德行、勉
 業等ノ龜鑑トナリ言行一致以テ牧衆ヲ教化セリ
 アレキセイ一ノ公書中ニ書シテ曰ク爾等諸子ヨ我カ救主
 ノ偽リナキ口ヨリ出テシ譬ヲ以テ爾等ニ誨訓セシ救主云
 ヘルアリ曰ク種ヲ播ク者アリ種ヲ播ク時道ノ傍ニ遺ツル
 者アリ、磽地ニ遺ツル者アリ、沃壤ニ遺ツル者アリト夫レ種
 トハ神ノ言ナリ地トハ人ノ心ナリ諸子ヨ爾等ノ心ヲ怠惰
 放任ノ神靈ノ果實ヲ結ハサル棘中ノ地トナス勿レ主神ヲ
 敬畏セザル磽地トナス勿レ又世ノ嗜慾ノ爲ニ惡魔ノ踐ム
 所トナル道傍ノ地トナス勿レ願クハ神、爾等ヲ此ノ如キ

ヨリ救ヒ爾等ノ心ヲノ神ノ聖言ナル福音ヲ受クルニ適ス
 ル沃壤ノ地トナシ實ヲ結フ或ハ三十倍或ハ六十倍或ハ百
 倍ナラシメ玉ハンコト又云フアリ曰ク爾等諸子ヨ救主、
 己レノ使徒ニ教訓シテ云ヘルアリ汝等ニ戒ム互ニ相愛ス
 ルニヨリテ我が門徒ナルヲ知ルト救主又云ヘルアリ禮物
 ナ壇上ニ獻スル時兄弟爾ト憾ミアルヲ記セハ禮物ヲ壇前
 ニ留メ先ツ爾ノ兄弟ト和シ後禮物ヲ獻スベシト故ニ爾等、
 聖堂ニ至ル時平和親睦相愛ノ心有ルベシ又爾等聖堂ニ入
 ル時ハ容貌ヲ正フシ敬畏ノ心ヲ懷シベシ蓋シ尋常ノ室ニ
 入ルニアラズ神ノ宮殿ニ入ルナレハ敬虔ニシテ神ヲ畏ル

ノ心ヲ懷シベキナリ此ノ如クセバ爾等ノ祈禱ハ天上神ノ
 聖前ニ達スベシ

聖アレキセイカ清廉徳義ナル名聲遠シ蒙古ニ聞ヘ更ニ非
 常ナル偉功ヲ立ツヘキノ時至レリ蒙古國王ノ夫人タイド
 トラ篤疾ニカマリ大ニ疲勞シ遂ニ盲トナリ如何ナル醫藥
 モ之ヲ治スルニ術ナカリシガ夫人ハ曾テ府主教アレキセ
 イカ賢哲ノ人タルヲ聞キケレバ之ヲ請ハント欲シタリ
 是ニ於テ國王ハ使者ヲモスシワニ遣ハシ書ヲ大侯イオア
 ンイオアンノワイチニ送リテ曰ク貴國ニ神ニ奉事スル人
 アリ其人神ニ祈ル時ハ必ず効アリト請フ此ノ人ヲ我が

國ニ遣ハセヨ彼レ若シ祈リテ吾ガ妻ノ目ヲ癒スヲ得ハ永ク和親ヲ結ハン若シ之ヲ肯ハズンハ戰場ニ相見ソノミト大侯之ヲ讀ミ大ニ驚キ其ノ書ヲアレキセイニ示シ王ノ意ニ從ハジトテ請ヒタリアレキセイ以爲ラク之ヲ肯ンセザル時ハ必ズロシヤ人民ノ慘痛ヲ招カン若シ蒙古ニ到ルモ夫人ノ病ヲ癒ス能ハズシハ自ラ慘酷ナル死ヲ受クヘキナリト然レトアレキセイガ國ヲ愛スルヲ熱切ナレハ堅ク神ヲ信シ懼ル、色ナク大侯ニ謂テ曰ク此ノ事我が力ノ及フ所ニ非ラズ然レト替者ニ明ヲ賜フノ神ハ其ノ仁慈ニヨリテ我ヲモ助ケ玉フヲ堅ク信シテ疑ハズト直ニ旅途ノ用意

ヲ整ヒ「ウヌベン」ノ首堂ニ至リ府主教ペートルノ墓ニ祈禱セシガ祈禱ノ時、府主教ノ棺ノ側ニ立テタル燈火自ラ點シケレバ見ル者之ヲ以テ幸ヲ得ル前兆ナリト思ヘリ且ツ主ハ奇夢ヲ賜フヲクイドーラノ信ヲ堅メケレバ府主教ノ將ニ至ラントスルヲ知リ夢ヲ得ルノ次日府主教及ビ諸神品ノ爲ニ夢ニ見タルカ如キ祭服ヲ新調セシメ其ノ至ルヲ待チタリ斯クテ府主教ハ蒙古ノ都ニ達シ病者ノ帷幕ニ入り府主教ペートルノ墓ヨリ携ヘ來リタル燭ヲ用テ主ニ祈禱シ聖水ヲ以テ夫人ニ洒ギケレバ忽然、眼ヲ開キテ明ヲ復シタリ王及ヒ夫人此ノ奇蹟ヲ見テ大ニ驚キ種々ノ禮物ヲ贈

リ禮ヲ尽シアレキセイナモスクワニ歸シタリ然レト幾
 シナテスシテ又國家ノ安キヲ謀ルガ爲メ再タヒ蒙古ニ旅
 行スベキニ至リタリ其ノ事ヲ釋ヌルコト王ノ子反シテ兵ヲ
 擧ケ王及ヒ兄弟ヲ弑シテ位ヲ奪ヒ加之ナラズロシヤニ課
 スルニ重稅ヲ以テシ且ツロシヤノ列侯ヲ督責シテ麾下ニ
 集ラシメ若シ命ニ從ハザレバ違背ノ罪ヲ問ハントセリ此
 ノ命ノ至ルヤロシヤ全國擧テ大ニ恐レ且ツ内乱ノアリシ
 後ナレハ到底之ニ抗シ防禦スルノ力ナク列侯遂ニ議ヲ決
 シ聖アレキセイ曾テ彼ノ夫人ヲ癒セシヲ以テ大ニ尊敬セ
 ラル、者ナレバ今アレキセイヲ遣ハシテ哀願スルニ若カ

ズト是コ於テ大侯列侯臣民ト與ニ聖アレキセイニ蒙古ニ至
 ランコトヲ請ヒケルニ聖府主教ハ身ノ老衰セルヲモ願ミズ
 國家ノ爲メ險惡ノ遠路ヲ犯シ蒙古ニ至リ主ノ恩佑ヨリ
 國王ノ心ヲ神ノ手ニ歸シ彼レヲノ能ク仁慈ノ心ヲ起サシ
 メ國權ハ總テ前國王ノ與ヘタルガ如ク監約シテモスクワ
 ニ歸リタリアレキセイ斯ク國家危急ノ秋ニ際シテ保護者
 トナリシカバ列侯臣民ト共ニニスネノウコトナルワ
 ガ河岸ニ出テ、聖アレキセイヲ迎ヘリ後府主教ハ此地ニ
 福音修道院ヲ創立セリ又到ル所府主教ノ歸ルヲ待テ諸神
 品等ハ最ト嚴カニ聖像聖旗ヲ捧ケテアレキセイヲ迎ヘ群

衆雲ノ如ク集リ争フテ府主教ノ衣服ニ捫^モセントシ實ニ難
 沓ヲ極メタリ斯ク府主教ハロシヤノ危急ヲ救ヒシモカ
 ル帝及ヒラテンノ主教等力ヲ尽シテロシヤ境内ニロマ教
 ナ播布セントセシカバ之ヲ防カンガ爲メ又旅行ヲ爲サ
 ルベカラザレハ府主教速ニキエフニ至リ迷者ヲ訓戒シ其
 ノ信ヲ堅メ此ヨリ少シク先キワリテニ於テハリストス教
 ノ爲ニ異教人ヨリ害逐迫害セラレタル聖ナル三致命者イ
 オアン、アントニイ及ヒエウスタフイヲ祭り毎歲四月廿七
 日ヲ以テ三致命者ノ紀念ヲ行フヘキヲ定メタリ
 其ノ後聖アレキセイ又モ力ヲ尽スヘキ時至レリ蓋ハ大侯

イオアン卒シ幼子デミトリイモスクワニ於テ位ニ即クベ
 キニスズダリ侯デミトリイ、コンスタンティノワイナハ居城ウ
 ラディミルニ僭立シケレハナリ
 然レトアレキセイハモスクワニ在リテ忠ヲ侯家ニ尽シ幾
 クナクシテ幼侯デミトリイ幕府ニ至リ己レ大侯タルベキ
 權アルヲ訴ヘシ故、王之ヲ立テ大侯トナセリ後チデミトリ
 イドンスキイト稱スルハ即チ此ノ人ナリ而メヌスタリ侯
 モ位ヲ讓^ユリタリ然レト内乱尙ホ止マズニゼゴロトノ侯
 伯互ニ争ヒトワイル侯ミハイル大侯ト稱スルモ事成ラズ
 モスクワニ幽セラレリトウ侯オリゲルドハ兵ヲ率^ヒテモ

衆雲ノ如ク集リ争フテ府主教ノ衣服ニ捫^モセントシ實ニ雜
 沓ヲ極メタリ斯ク府主教ハロシヤノ危急ヲ救ヒシモカ
 ル帝及ヒラテンノ主教等力ヲ尽シテロシヤ境内ニロマ教
 ナ播布セントセシカバ之ヲ防カンガ爲メ又旅行ヲ爲サ
 ルベカラザレハ府主教速ニキエフニ至リ迷者ヲ訓戒シ其
 ノ信ヲ堅メ此ヨリ少シク先キワリニ於テハリストス教
 ノ爲ニ異教人ヨリ害逐迫害セラレタル聖ナル三致命者イ
 オアン、アントニイ及ヒエウスタフイヲ祭り毎歲四月廿七
 日ヲ以テ三致命者ノ紀念ヲ行フヘキヲ定メタリ
 其ノ後聖アレキセイ又モ力ヲ尽スヘキ時至レリ蓋ハ大侯

イオアン卒シ幼子デミトリイモスクワニ於テ位ニ即クヘ
 キニスズダリ侯デミトリイ、コンスタントンノワイチハ居城ウ
 ラディミルニ僭立シケレハナリ
 然レトアレキセイハモスクワニ在リテ忠ヲ侯家ニ尽シ幾
 クナクシテ幼侯デミトリイ幕府ニ至リ己レ大侯タルベキ
 權アルヲ訴ヘシ故、王之ヲ立テ大侯トナセリ後ナデミトリ
 イドンスキイト稱スルハ即チ此ノ人ナリ而ノスズタリ侯
 モ位ヲ讓^{ユツ}リタリ然レト内乱尙ホ止マズニセゴーロトノ侯
 伯互ニ争ヒトワイル侯ミハイル大侯ト稱スルモ事成ラズ
 モスクワニ幽セラレリトウ侯オリゲルドハ兵ヲ率^サテモ

スカクワチ園カニ近方ノ里閭ヲ掠メ火ヲ放チテ民家ヲ燒キタ
 リ斯クノ如キ亂世ノ時ニ當テ聖アレキセイ諸侯ヲ調和シ
 且ツ幼侯デミトリイヲ輔佐シケレバ彼レ亦父ノ如ク之ヲ
 重シ遂ニ世モ平穩ニ歸シデミトリイハ大侯トナリタリ是
 ニ於テ府主教ハ只管教會ノ事務ノミニ任スヘキノ時トナ
 リケレバ多クノ聖堂ト修道院ヲ造營セリ其ノ中「スハス、ア
 シドロニク」ノ修道院ハ聖アレキセイガ王城ヨリ歸リ黒海
 ナ航シ颶風ニ遇ヒシ時ノ約ニヨリ造營セル所ナリアレキ
 セイノ女修道院及ビ神使ミハイルノ奇蹟ノ名ニヨリテク
 レムリニ建立セシ奇蹟修道院モ同時ニ造營セルモフナリ

其ノ後久シキヲ經テ聖アレキセイハ世ヲ逝ル時ノ漸ヤク
 近ツクヲ知り後任ヲ定メントシテ「トロイチ」ノ修道院ヨリ
 聖セルギイヲ招キ先ツ己ノ意ヲ告ケ侍者ニ命シテ貴キ十
 字架ヲ持來ラシメ之ヲセルギイニ授ケントセシガセルギ
 イ地ニ伏拜シテ曰ク「ハリストス」ノ大ナル司祭長ヨ我ヲ許
 セ我レ若年ノ時ヨリ金銀ヲ帶セシ「アルナ」シ況ンヤ永ク
 清貧ニ居ラン「ヲ」ヲ望ム「ヤ」ト如何ニ説諭スルモ徒ハザレ
 ハ聖セルギイヲ牧師長ノ職ニ就カシムルヲ能ハサリシ大
 侯ハ常ニ己ノ寵セシ掌院ミハイルヲ府主教ノ後任ト定メ
 シ「ヲ」チ屢々請ヒタリ然レトアレキセイハミハイルノ人ト

爲リ高慢不遜ナルヲ以テ大侯ノ旨ニ從ハザリキ
 府主教ハ年老テ命ノ迫ルヲ知リ大侯ヲミトリイテ招キ福
 ナ降シ且ツ遺訓シ而ノ神ニ感謝祈禱シテ安然トシテ魂ヲ
 神ニ捧ケタリ享年八十五歳實ニ降生一千三百七十八年二
 月廿四日ナリ
 大侯、神品、臣民、咸ナ哀哭悲慟シ聖アレキセイガ會テ造營セ
 シ神使ミハイルノ聖堂ノ中ニ葬リタリ
 府主教カ世ヲ逝ルノ後六十年ヲ經テ公祈禱ノ時弓形ノ天
 板自ラ裂ケテ二分セシカバワシリイ侯石造ノ聖堂ヲ建テ
 木造タリシ先キノ聖堂ニ代ヘタリ而ノ地ヲ堀リ聖堂ノ基

礎ヲ置カントスル時聖府主教アレキセイノ不朽体ヲ發見
 セリ後イオアン、ワシリイワチ侯ノ時奇蹟修道院ニ聖アレ
 キセイノ名ニヨリテ新タニ建立セル聖堂ノ中ニ遷座セリ
 又イオアン及ヒペートル二王ノ時降生一千六百九十六年
 五月廿日福音堂及ヒ聖アレキセイ聖堂ノ間ニ一聖堂ヲ新
 築シテ之ニ遷座セリ而ノ多クノ奇蹟其ノ墓頭ニ見ハレ神
 ニ好ミセラル聖者ノ遺骨ヲ光榮セシト云フ
 六月三日聖アレキセイノ遷座祭ヲ行ヘリ

○廿五日

此ノ日成徳ナルマルティンヲアノテ紀念セリ彼レハ十八歳ノ

時ヨリ深野ニ遷レ身ヲ修メシ人ナリト云フ

○成徳ナルアウクセンテイノ紀念 二十六日

成徳ナルアウクセンテイハ富貴ノ家ニ生レタル人ナリ弱冠ニシテ小フコオドシイノ時ニ大ニ尊榮ヲ受ケシガ常ニ全誠意主ニ奉事セント欲シ遂ニ世ヲ遷レ剪髮シテ修士トナリ固ヨリ高才博識且ツ仁善ノ人ナレバ其ノ名世ニ藉々タリ(昔時ノ史家此人ヲ主ノ忠信ナル僕ニシテ諸學ニ通シ修士及、學士ノ欣慕スル人ナリト云ヘリ)アウクセンテイ謙遜ニシテ名譽ヲ避ケワイフニヤニ程、近キ山中ニ遷レタレ此ノ幽隱ノ地ニ孤棲スル能ハサリキ其ハ主ヨリ病ヲ痊スノ異

能ヲ受ケシカバ虔敬ナル人々集ヒ來リテ其ノ祝福ト教訓ヲ受ケントシ或ハ病者ヲ携ヘ來リテ其ノ祈禱ヲ請ヒバナリ、カクテ幾クモナクシ其ノ居ル所ノ山ヲアウクセンテイノ山ト稱シ著明ナルニ至レリ其ノ後、謙遜溫柔ナルアウクセンテイ召サレテハルキドノ聖全地公會ニ與カリ堅ク真理ヲ守リエフテイヒイノ岐教ヲ駁撃シ公會終リテ後、再ビ愛スル所ノ山中ニ隱レ訪ヒ來ル教徒ニ教訓シ年老テ後、安然トシテ此ノ世ヲ逝リタリト云フ

○此日又ベチエルの閉戸者成徳ナルイサキイ及ヒスラワンノ教化者成徳ナルキリールヲ紀念セリキリールノ傳ハ五

月廿三日其ノ兄弟メフオデイト合祭スル日ニ於テ之ヲ述テ
可シ

○聖使徒ヲニシムノ傳ニ十七日

小アシヤノフリギヤ郡ニ富貴ノ人アリフリモント云ヘリ
聖使徒等ガ福音ヲ擴布スル時フリモン教ヲ聽キ主ヲ信認
シ遂ニ七十使徒ノ一人ト爲リタリ
フリモン未タ主ヲ信セザル先キヲニシムト云ヘル僕ヲ役
セシガ主家ニ在リテ罪ヲ犯シ罰ヲ怖レテ此ノ時、聖使徒パ
ワエルガ傳道セルロマニ脱走シケリ
ロマノ人々、聖使徒ノ言ヲ聽キ主ヲ信ズル者多カリケルガ

ヲニシムモ亦タ使徒ノ許ニ到リ其ノ講説ヲ聽キ大ニ信向
ノ心ヲ起シ痛ク己レノ犯セシ罪ヲ懺悔シ始メテ使徒ニ隨
從シ使徒パウエルカ窘逐ニ遇ヒ遠流セラル、時モ猶陪從シ
テ聖洗ヲ領ケ銳意ニ益々パウエルニ事ヘシカバパウエルモ
亦大ニヲニシムヲ愛シ常ニ己レノ許ニ留メント欲セシモ
ニシムハ舊主フリモンニ属スル者ナレバ舊主ノ宥赦ナク
シテ任意ニ之ヲ誣ムルヲ欲セズ因テ書ヲ與ヘヲニシム
ヲ舊主フリモンノ許ニ返シ其ノ罪ヲ赦サンヲ請ヒ且ツ僕
ヲニシムヲハリストスニ於ル兄弟トシテ接センヲフリ
モンニ勸メタリフリモンニ遣ハシタル此ノ書ハ聖使徒

ワユルノ他ノ書札ト共ニ、聖書ノ中ニ編入セラレタリ
 フイリモンハ唯チニシムヲ宥赦セシノミナラズ其レニ自主
 ノ權ヲ與ヘケレバチニシム大ニ悦ビ拜辭シテ聖使徒パウ
 ルノ許ニ還リ心ヲ尽シ躬ヲ尽シテ之ニ給事シ親シク使徒
 パウエルノ教訓ヲ受ケ七十使徒ノ一人トナリ而シテ聖使徒パウ
 ル世ヲ逝ル後遠ク四方ヲ跋涉シイスパニヤ及ヒグレチヤ
 小アジアノ諸城ニ傳道シ年老テ後、終ニティモフエ及ヒ神學
 者イオアンノ後ヲ嗣テエフエスノ主教ニ舉ゲラレタリ(捧神
 者聖イグナタイ己ノ書翰中ニ彼レガ(チニシム)虔敬ニシテ
 事務ニ練達シ熱切ニ己ノ職ヲ尽ス人タルヲ述ベリ)聖

ニシムハ多年ノ間エフエスニ在リテ主教ノ職ヲ勤メ仁善、徳
 義ノ行ヲ爲シ能ク教徒ヲ教訓シテ眞理ニ堅メ異教人ヲ教
 化シテハリストスニ歸セシメタリ斯クテ後トラヤン帝ノ
 時ニ窘逐起リシガ聖チニシムモロマニ召致セラレタリ
 聖チニシム法庭ニ召致セラレ府知事テルルルノ前ニ出
 テ堅ク主ノ名ヲ承認シタリ知事、其ノ生所姓名ヲ問ヒケレ
 バチニシム泰然トシテ答テ曰ク我ハハリストスニアニシナリ弱
 冠ノ時、人ノ奴タリシモ今ヤ我が主我が神イイススハリス
 トスノ忠信ノ僕タリト知事曰ク新主ガ爾ヲ贖フニ幾何金
 チ以テセシヤチニシム曰ク經ニ爾、チ贖チ得テ以テ祖父傳

フル所ノ妄行ヲ脱スルハ、壞ル可キノ金銀ヲ以テスルニ非
 ズ、玷ナキ羔ノ如キハ、リストスノ寶血ヲ以テナリト云へ
 ルカ如ク（ペ一ノ十八十九書）神ノ子イイススハリストス己レノ
 潔キ寶血ヲ以テ我ヲ沈淪ヨリ贖ヘリト知事曰ク何ヲカ妄
 行ト稱スルヤトヲニシム因テ吾人ヲ主及ビ其ノ聖旨ヨリ遠
 ザケシムル諸惡ヲ數ヘテ曰クカーイン、チノ兄弟ヲ殺スニ
 至ラシムル傲慢、真理ノ仇ナル讒言、詐偽々善、人ヲ爭論セシ
 メ甚タシキハ父母ヲ殺スニ至ラシムル憤怒、諸惡ノ母タル
 輕躁、酩酊ハ皆之ヲ妄行ト稱スルナリ然ルニ此ノ諸惡ノ因
 リテ出ル所ノ源因ハ偽神ヲ拜スルニアリ偽神ヲ拜スルハ

智慧ヲ暗マシ爾等ヲ罪惡ノ虜トナシ而シテ神ヲ識認シ其ノ
 聖旨ヲ守リ救贖ヲ受ク可キノ途ヨリ遠ザカラシムルナリ
 我レ聖書ニ述ブル所ノ是ノ妄行ヲ避クルヲ務ムルヲ猶激
 波ヲ避クルガ如ク而シテ平安ノ港ナル停泊所即チ惟一ナル
 眞實ノ神ヲ信スル信仰ト人ニ於ルハ愛憐トニ歸着セリテ
 ルトルニヨ爾ニ勤ム眞理ヲ識認シ世ノ虛妄ヲ捨テ愛憐ノ
 法ヲ受ケ信ノ造化主ナル救主ニ就ケヨ彼レ必ズ爾ヲ容レ
 ン蓋シ主ハ主ニ逆フ者ノ沈淪ニ陥ルヲ欲セス喜テ懺悔
 ト歸正ヲ容レ其ノ嘗テ犯セシ諸罪ヲ宥サン知事ハ斯ク温
 柔仁愛ノ辭ヲ聞クモ勃然眼ヲ怒ラシテ曰ク噫爾ヲ自ラ己

レノ迷ヲ固執スルノミナラズ我等ヲモ其ノ迷ニ誘ハント
 スルヤ何ソ感ヘルノ甚シキ我レ之ガ爲メ嚴シク爾ヲ罰セ
 ン^レヲニシム自若トシテ曰ク拷治叱責ハ我ガ怖ル所ニ非ズ
 來世ノ望ハ苦難ノ中ニ在リテ我ヲ慰藉シハリストスノ威
 力ハ我ヲ鞏固セリト
 知事命シテ聖ヲ^コシムヲ獄舎ニ繋ガシメタリ聖者ハ十八
 日ノ間、幽閉セラル、モ「ハリステイア^ニン」等及び愛情深キ人
 々ニ訪問セラレ且ツ未ダ信セザル人々ニ神ノ聖言ヲ傳へ
 ケレバ神ヲ信スル者多クノ獨、心ヲ慰サムルヲ得タリ十八
 日ヲ經シ後、知事ヲ^ニシムヲ^ロマヨリ逐ヒ^アテイオリニ遠流

セシガ聖ヲ^ニシムハ配所^ニ在リテ侃々トシテ福音ヲ傳へ
 異教人ヲ反正セシメケレバテルトル此ノ事ヲ聞キ又法
 庭ニ引出シ拷治セシモ遂ニ其ノ信仰ヲ易ヘザルヲ視、痛ク
 鞭^ムチ遂ニ命ノ死刑ニ行ヒタリ一皇族ノ「ハリステイア^ニン」ナ
 ル婦^ニテ聖致命者ノ頭ナキ遺体ヲ収メ銀棺ヲ造リテ之ヲ
 藏メタリト云フ

○聖致命者、司祭^{ハム}ファイル輔祭^ワレント、パウエル、ホル
 フィリイ及び彼等ト偕ニ難ヲ受ケシ諸聖致命者ノ
 紀念 二十八日

第四世代ノ初ニ當リパレステイナノケサリヤ城ニ司祭^{ハム}

フィルト云ヘル廉潔ノ人アリ常ニ碎身粉骨ノ身ヲ以テ犠牲
 トナシ神ノ榮ヲ輝カシ人々ノ公益ヲ謀リ孜々トシテ止マ
 ザリケレバ深ク人ニ尊敬セラレタリバムフィルハ幼ニシテ
 家郷ベリタニ在リテ善良ノ教育ヲ受ケ後アレキサンドリ
 ヤニ遊學シ遂ニケサリヤニ到リ司祭ノ職ニ舉ラレタリ其
 ノ有ル所ノ物品ヲ以テ悉ク貧者ニ頒チ與ヘ自ラ赤貧ニ安
 シ常ニ謹勉シテ聖書ヲ參考校正セリ蓋ハ此ノ時、聖書ノ全
 集大ニ騰寫家ノ雜脱スル所トナレバナリ彼レ聖書ハ各自
 「ハリスティアン」タル者ノ家ニ必ズ備フ可キト爲シ之ヲ分
 與センガ爲メ或ハ購求シ或ハ自ラ騰寫シ其ノ功勞ニヨリ

テ遂ニケサリヤ城ニ廣大ナル聖書ノ文庫ヲ開設シ且ツカ
 ナ尽シテ正教ヲ弘布シ眞理ヲ擴張セリクロウチヤディオクリティアン帝
 ノ朝ニ起リシ窘逐ノ時、堅ク正教ヲ守リ「ハリスティアン」テ
 獎勵セシカバ窘逐者ハ此ク神ノ光榮ノ爲ニ勤勞スル所ノ
 聖者ヲ見免ス能ハズシテバムフィルヲ捕縛シ殘酷ノ拷治ヲ
 爲シバムフィルノ信心ヲ離サシメントセシカババムフィルハ
 泰然トメ諸難ヲ忍ヒ受ケ拷問ヲ經ル後、輔祭ワレント及ビ
 一信徒パウエルト共ニ遂ニ獄舎ニ繋カタレリ此ノ二人ハ是ヨリ
 先キハリストスヲ承認シタルガ爲ニ一回苦難ヲ受ケシ者ナ
 リ二年ヲ經ルモ猶、赦サレズノ獄舎ノ中ニ在リシガ窘逐彌熾

ニソ殊ニマクシミアン帝ノ治下ニ属スル諸郡ハ最モ残酷
 ナリパレスティナ及ビエギプトモ亦其ノ治下ナレハ諸所ノ
 「ハリスティアニン」等ハ驚愕ス可キ苦難ヲ受ケシ後、右眼ヲ抉
 ラレ右足ノ筋ヲ斷レテ鑛穴ニ遠流セラレ苦役ニ服セリ百
 三十人ノ表信者モエギプトニ在リテ同シク此ノ刑ヲ受ケ
 キリキヤノ鑛穴ニ遠流セラレタリ又囚者ノ兄弟ナル五人
 ノ「ハリスティアニン」等送リテ鑛穴ニ到リ歸途パレスティナノ
 ケサリヤニ於テ拘留セラレタリ其ハ五人ガケサリヤノ閭
 門ニ到ル時、番兵ハ其ノ何人ニソ何處ヨリ來ルヤト問ヒケ
 レバ五人異口同音ニ我等ハ「ハリスティアコン」ニソ同信者ナ

キリキヤニ送リ今家郷ニ歸ルノ途ナリト答ヒシユヘ直ニ
 捕縛ハレテ獄舎ニ繋ガル、ナリ次日ニ至リ五人ハ二年ノ
 星霜ヲ獄舎ノ中ニ送リシ聖パムフィル、ワレント及ビパウエル
 ト偕ニ法庭ニ召致セラレテ詰問ヲ受ル時、長官先ツエギペ
 トノ少年等ニ向テ其ノ生所姓名ヲ尋問セシカバ皆舊約ノ
 大預言者ノ名ヲ以テ答ヘ己ノ「ハリスティアコン」タルヲ承
 認シ且ツ其ノ中一人吾ガ生國ハ山地イエルサリムナリト
 答ヒタリ長官之ヲ聞テ其ノ何所タルヲ知ラズ蓋ハ是ヨリ
 先キ降生後百五十年ノ頃、舊時ノイエルサリム城ヲ破毀シ
 新ニ城ヲ建築シテエリエイ、アンドリアント稱セシ故ニ異

教人ハ舊ノイエルサリムノ名ヲ忘ル、ユ至リタルナリ長
 官曰ク「イエルサリムハ何所ノ城ニシテ如何ナル民ノ住メル
 所ナルヤト」ハリステ「アニン」等託言シテ天國ヲ示シ「旭日ノ
 先ツ照シ輝ク城ニ住民タルノ權ヲ有スル者ハ唯「ハリステ」
 「アニン」ノミ」ト答ヒタリ長官此ノ答ヲ聞キ「ハリステ」
 「アニン」
 等カ東方ニ一城ヲ築キ「ロマ」ノ管下ヲ脱センヲ計ルト思ヒ
 其ノ少年ヲ酷シク鞭撻シタリシガ少年等ハ「ハリステ」
 讚揚シテ止マザレバ遂ニ死刑ニ行ハレタリ
 長官ハ先キノ表信者「バムフィル」
 「ワレント」
 「パウエル」等モ王命ニ
 従ハズ且ツ其ノ信ヲ變ヘザルユヘ遂ニ三人ヲモ亦斬首ス

ル「チ命」シタリ
 表信者等ヲ刑場ニ引キ出セシ時、常ニ司祭「バムフィル」ノ膝下
 ニ在テ教育ヲ受ケシ僕「ポリイト」云ヘル少年(年十八)長
 官ノ前ニ進ミ出テ「聖致命ノ遺骨ヲ収メ葬ムルヲ許サント
 ナ」請ヒケレバ長官、其ノ宗旨ヲ問ヒタリ「ポリイト」怖ル、
 色ナク泰然トシテ答テ曰ク「吾レ「ハリステ」ニ信ゼリ」ト長
 官少年ヲメ變心セシメント欲シ大ニ罰責シタレト少年屈
 セズメ諸難ヲ忍ビ受ケ苦ミノ片言ヲモ發セザレバ遂ニ樹
 ニ掛ケテ燒殺セントセシガ炎々タル火煙モ少年ヲ害セズ
 少年ハ欣喜シ色、面ニ顯レ主「イエス」
 「ハリステ」ノ聖名ヲ

呼ビ己レノ清キ魂ヲ神ニ獻ジタリ長官ハ種々ノ苦ヲ與フ
 レ「ハリスティアコン」等ノ剛毅ナルニ勝ツ能ハザルヲ見
 益憤怒シ少クモ致命者ニ憐憫ヲ加フルノ徴アル者ヲ見レ
 ハ同シク死刑ニ處セリ一人ノ兵士セレウクト云ヘル者ボ
 ル「フィリイノ刑ヲ受クルヲ見、之ヲバムフィルニ報セントテ到
リタレババムフィルカ最後ノ祈禱了リ將コ頭ヲ垂レテ刃ヲ
受ケントスルニ遇ヒ之ニ告ルニボルフィリイノ終焉ノ景狀
ヲ以テセシニバムフィルハ弟子ボルフィリイガ榮譽アル逝
世ノヲヲ聞キ神ニ感謝シセレウクテ接吻シ欣喜ノ斬首セ
ラルセレウクモ之ガ爲ニ遂ニ殺サレタリ然レト彼レ素ヨ

リ「ハリスティアコン」ナレハ從容トシテ死ニ即キタリ其ノ後、
 長官ノ僕ニシテ密ニ「ハリストス」ノ僕ナリシ聖「フェオドル」モ致
 命者ノ數ニ加ハレリ蓋ハ此ノ刑ニ行ハル、致命者ノ前ニ
 到リ接吻シテ主ノ臺前ニ己レノ爲ニ祈禱セン「トテ請ヒシ
カバ長官、是ノ事ヲ知リ直ニ命シテ十字架ニ釘殺シタル也
又「カッパドキヤ」ヨリ來リシ「ハリスティアコン」名ハ「ユリアント
云ヘル者モ此ノ日致命シテ十二致命者ノ數ヲ全フセリ初
メ「ユリアン」ハケサリヤニ到リシトキ郊外ニ鳥獸アリテ屍
 ナ食スルヲ見、其ノ「ハリスティアコン」ノ遺体ナルヲ知リハリ
 ストス敬ノ爲ニ身ヲ以テ犠牲トナサント欲シ聖致命者ノ

偉勳ヲ讃揚シツ、之ニ接吻セシカハ兵番遙カニ之ヲ見、兵
長ニ訴ヘシユヘ栲治ヲ受ケ已レノ信向ヲ承認シ遂ニ烈火
ノ中ニ投セラレタルナリ

斯クノ如クハリストスノ僕ニソ忠信ナル十二人ハ致命ノ
榮冠ヲ載キ天國ニ在リテ永遠無尽ノ光榮ヲ受クル者トハ
ナレリ

其ノ詳カナルコトハバムフィルノ弟子ナル史家ニウセワイカ
著ハセシバレステイナノ致命者ノ歴史ニ掲載セリ

○成徳ナルロマノカッシアンノ紀念 二十九日

聖カッシアンガ世ニ在ルハ第四世代ノ終ヨリ第五世代ノ始

ニソ正教ノ教化、特ニ東方ニ弘布シ時ナレハ學問、德行、益々
進歩シ曠野、山丘、所トシテ「ハリストイアコン」ノ社會ニ其ノ榮
名ヲ輝ス聖ナル修士ノ繁殖セザルノ地ナカリキカッシアン
ハ宗教理學ニ熱心シ故郷ロマヲ去リ東方ニ遊歴シ暫クワイ
フレエムナルスキトノ曠野ニ留マリ修士ノ務ヲ受ケワイワイ
ダノ曠野ニ在ル修道院ヲ巡廻シコンスタンテイノイホリ城ニ
到リ金口イオアンノ説ヲ聞キ後、數年ヲ經テロマニ還リタ
リ此ノ時、金口イオアンノ身上ニ窘逐起リシ時ナレハカッシ
アン其ノ辨護者ノ一人トナリテ大ニ努力シテ其ノ後、幾
クモナクシテ南ガルリヤノマニセリ城ニ到リ始メテ此ノ

地ニ東方ノ規模ニ倣ヒ聚居修士ノ法ヲ弘メ夥多ノ書ヲ著
ハシ西方ノ「ハリステイアノン」ニ東方修道院ノ規則ヲ知ラシ
メ曠野ニ修道スル諸父ノ靈益ナル嘉言ヲ編集シ且ツ偽教
ヲ駁撃シ降生四百三十五年ニ至リ安然トシテ世ヲ逝リタ
リト云

諸聖略傳二月之部終

八十	四行	正誤
十一	九	
十四	五	
二十	一	
卅六	三	
四十二	四	
六十	五	
八十二	七	
百四	三	
百五	四	
百十	二	

ハレステイアノ(ノ)ヲ脱ス
 (思想)ハ(思想)
 (切熱)ハ(熱切)
 強迫セラレノ(セ)ヲ脱ス
 (聖常)ハ(聖堂)ニ(常)ニ
 (輝カザル)ハ(輝ガサル)
 蒼天ノ(蒼)ハ衍
 (告)ハ(告)ケ
 (甚)モ(最)モ
 (聖書)講讀(ハ)聖書ノ講讀
 藥價ノ下ニ(下)脱ス

百廿七	一
百卅七	一
百五十四	四
百七十	六
百七十三	四
百七十七	八
百九十	五
二百十三	五
二百十五	七
二百廿三	六
二百卅四	五
二百六十四	一

(葬ラシ)ハ(葬ラシ)

(ニ四十)ハ(シ四十)

(戀ハシ)テ(戀ハシメ)

(フユ)フイル(ハ)フエオ(フイル)

(醋)ク(ハ)醋ク)

(開)キ(ハ)開キ)

(承)諾(ハ)承認)

(限)リナリ(ハ)限リナク)

コンスタンティイ(党)ハ(帝)

(公)會(コ)ハ(公)會(チ)

(門)徒(ハ)門徒)

(兵)將(ハ)將兵)

33

180





